

第13回長崎県アームレスリング選手権大会結果

H23.02.27
NCC&スタジオ

階級	1位	2位	3位
レフトハンド-65kg	橘田 宰 (前島道場)	丸山 竜二 (翔竜)	山本 一樹 (翔竜)
レフトハンド-70kg	飯塚 順司 (飯塚館)	藤井 大地 (真聖会)	加藤 斉 (真聖会)
レフトハンド-80kg	中西 洋介 (前島道場)	三木 崇史 (釈迦力)	山田 博三 (FPG)
レフトハンド+80kg	島野 正貴 (腕武士)	広瀬 薫 (前島道場)	三木 修 (釈迦力)
ライトハンド-65kg	橘田 宰 (前島道場)	丸山 竜二 (翔竜)	中島 康嗣 (白土塾本部)
ライトハンド-70kg	飯塚 順司 (飯塚館)	小川 大志 (真聖会)	加藤 斉 (真聖会)
ライトハンド-80kg	中西 洋介 (前島道場)	三木 崇史 (釈迦力)	加藤 斉 (真聖会)
ライトハンド+80kg	三木 修 (釈迦力)	島野 正貴 (腕武士)	稲原 進 (腕武士)

第13回長崎大会は、従来からのA-1(オープン), A-2(県大会)カテゴリーをなくし、体重別で試合を行った。

長崎県外では、関東から、飯塚館・飯塚選手、前島道場・広瀬選手、橘田選手、中西選手と超豪華選手が、徳島から釈迦力・三木修選手、三木崇史選手、四国から丸山選手とこれまた西日本トップクラスの選手が駆けつけ、長崎県内の各チャンピオンもほぼ揃い、約100エントリーの参加があった。

また、最近ボディビルとアームレスリングを両立している福岡FPGからは、山田会長、山田剛、原口選手他が参加して大会を盛り上げ、特に山田博三選手(会長)は80kg級左で堂々の3位入賞。

試合は、まず65kg級では左右共に橘田vs丸山の戦いとなり、西日本チャンピオンの丸山選手が善戦したものの、橘田選手が左右優勝。70kg級では、ぶっちぎりで飯塚選手が左右優勝し6年越しで小川選手にリベンジ。

80kg級では、全日本チャンピオン同士の戦いとなり、中西選手が三木崇史選手を一蹴して左右優勝。

無差別では、右は3連覇中の島野選手を三木修選手が破り優勝し、左は広瀬選手の不運もあり、島野選手が優勝。

最後に、各階級のチャンピオンでのオーバーオールを行い、左は中西選手、右は三木修選手が優勝し、それぞれMVPに選出された。